

表1 黒毛和種におけるサイ
レージ給与効果

	対照 区	試験 区
粗飼料摂取量(kg)	1,125	2,980
濃厚飼料摂取量(kg)	4,458	3,013
TDN 摂取量(kg)	4,335	4,541
育成開始体重(kg)	120	125
肥育開始体重(kg)	288	294
肥育終了体重(kg)	751	779
枝肉重量(kg)	489	481
胸最長筋面積(cm ²)	62.9	61.0
BMS No.	7.1	6.6
BFS No.	3.0 ^b	3.6 ^a
TDN 自給率(%)	14.4	44.2
飼料費(万円)		
育成期	5.8	4.4
肥育期	29.8	23.3

ab:有意差あり

表2 交雑種におけるサイレ
ージ給与効果

	対照 区	試験 区
粗飼料割合(%DM)		
育成期	38	38
肥育前期	26	64
肥育後期	15	40
育成開始体重(kg)	203	209
肥育終了体重(kg)	836	828
枝肉重量(kg)	518	504
胸最長筋面積(cm ²)	51.2	48.9
BMS No.	3.9	3.5
BFS No.	3.0	3.0
TDN 自給率(%)	12.4	41.8
飼料費(万円)		
育成期	4.0	3.7
肥育期	32.4	24.5

乾物構成比、養分含量の算出

- ①個々の飼料の現物給与量および乾物率
- ②乾物給与量に換算
- ③乾物構成比(%), CP 含量、NDF 含量、デンプン含量、TDN 含量を算出

I. 育成期 GS 主体育成期 TMR

- ①GS の給与割合は現行の粗飼料給与割合と同等(乾物)
- ②CP 含量を現行の給与水準と同等に配合飼料と圧べんとうもろこしで調整

II. 肥育期 CS 主体肥育期 TMR

- ①CS の給与割合(乾物)
肥育前期 60~70%
肥育後期 35~40%
- ②CP 含量、NDF 含量、デンプン含量、TDN 含量を現行の給与水準と同等に配合飼料と大豆粕で調整

* 代謝プロファイルテストの目安は黒毛和種(図1)に準ず

図2 交雑種去勢牛の育成・肥育一貫
飼養における牧草・とうもろこしサイ
レージ主体 TMR の設計指針

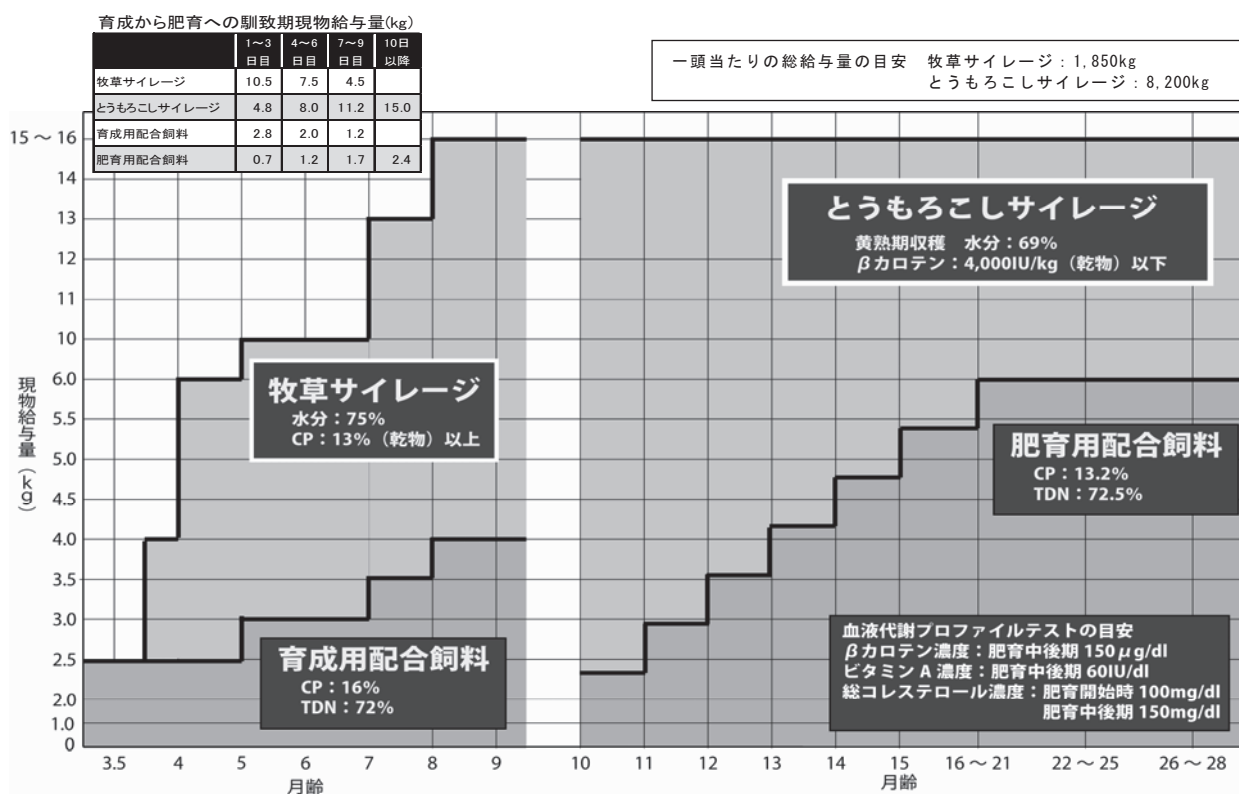


図1 黒毛和種去勢牛の育成・肥育一貫飼養における牧草・とうもろこしサイレージ分離給与基準

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。

道総研畜産試験場 家畜研究部 肉牛グループ 糟谷 広高

電話 (0156) 64-0610 FAX (0156) 64-6151

E-mail: kasuya-hirotaka@hro.or.jp